

報道各社 様

表千家同門会

表千家同門会 第86回全国大会「関門海峡大会」について

1. 関門海峡大会概要

全国大会は、当法人の事業目的にのっとり、全国会員の交流と開催地における茶道文化の普及と発展を目的として昭和52年4月から全国各地において開催されている本部主催の大茶会です。山口県では昭和54年（第11回）開催以来4度目、福岡県では昭和57年（第16回）開催以来7度目の全国大会開催となります。

第86回目となる今大会は、全国から約900名の会員が参集し、家元席はじめ地元支部会員による土地の歴史や旅情を取り入れた支部席などの茶席廻りを楽しむ趣向となっております。地元支部会員が全国からの同門会員をもてなします。特に今大会は、北九州市と同門会が共催し、福岡県、山口県、下関市より後援を賜り、ご当地の茶の湯文化を広く発信する内容となっております。

北九州市では共催事業として、大会二日目に地元市民の方を対象に「茶の湯文化にふれる市民講座」を開催いたします。

大会初日夕刻には、リーガロイヤルホテル小倉において、地元来賓方と全国からの参集の同門会員が一堂に会し、大会式典夕食会を挙げる予定です。

京都の家元からは、表千家15代家元 猶有齋千宗左宗匠、表千家同門会 三木町宣行理事長、また大会開催地の地元山口県支部からは齋藤宗房支部長（山口トヨタ自動車㈱代表取締役社長）、福岡県支部から田村邦明副支部長（管崎宮宮司）が出席予定です。

主 催 一般社団法人 表千家同門会

名 称 第86回 表千家同門会全国大会「関門海峡大会」

開 催 日 令和7年11月8日(土)～11月9日(日)

参会人数 全国より参集の当会会員 約900名

【大会式典夕食会】

令和7年11月8日（土）17：00開式

於）リーガロイヤルホテル小倉

※取材の際は16：30頃「来賓受付」までお越しください。

次 第

17：00 アトラクション

「祇園太鼓」

大会式典

一、開式の辞 表千家同門会理事長 三木町宣行 様

一、来賓ならびに本部役員紹介

一、猶有斎御家元宗匠挨拶

一、山口県支部長挨拶 齋藤 宗房 様

一、福岡県副支部長挨拶 田村 邦明 様

一、ご来賓挨拶 福岡県知事 服部誠太郎 様

一、ご来賓挨拶 山口県知事 村岡 嗣政 様

一、次期大会開催福岡県支部長挨拶 広部 正紘 様

18：00 夕食会

一、ご挨拶 乾杯ご発声 北九州市長 武内 和久 様

アトラクション

「筑前琵琶」

19：45 一、表千家同門会 大会担当主任挨拶

19：50 閉 式

【茶 席】

北九州市

家元席 （濃茶）小倉城庭園

〒803-0813 福岡県北九州市小倉北区内1-2

取材の際は、8：30～15：00までにお越しください。

※お家元宗匠は11/9（日）9：00頃～10：30時頃お出ましの予定です。

来賓ご予約は11/9（日）福岡県知事 服部誠太郎 様（上記時間）

11/8（土）北九州市長 武内和久様（14：10頃）

〃 北九州市議会議長 中村義雄様（13：00頃～

14：00頃）

支部席 （薄茶）旧松本邸

〒804-0021 福岡県北九州市戸畑区一枝1丁目4-3 3

取材の際は、8:40～15:40までにお越しください。

山口福岡合同青年部席 （薄茶）大連友好記念館

〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町1-12 2F

取材の際は、8:50～15:10までにお越しください。

下関市

支部席 （薄茶）長府庭園

〒750-0003 山口県下関市阿弥陀寺町4-1

取材の際は、8:40～15:00までにお越しください。

支部席 （薄茶）赤間神宮

〒750-0003 山口県下関市阿弥陀寺町4-1

取材の際は、8:50～14:20までにお越しください。

支部席 （薄茶）下関グランドホテル

〒750-0006 山口県下関市南部町3 1-2

取材の際は、8:50～14:50までにお越しください。

【見 学】

長府庭園 展観席「岸家安倍家と表千家ゆかりの道具」

入場 8 : 3 0 ～ 1 6 : 0 0

〒752-0986 山口県下関市長府黒門東町8-1 1

出光美術館 門司 開館25周年記念「琳派の系譜—宗達、光琳と江戸琳派」

併設展示「茶の湯の美」

〒801-0853 福岡県北九州市門司区東港町2-3

開館 9 : 3 0 ～ 1 7 : 0 0

【行 程】

JTB 京都支店が旅行、運行業務を取り扱います。参会者 900 名は 22 グループにわかれ、バスダイヤにのっとりクルーズ単位で 2 日間にわたり茶席廻りを行います。

【大会記念品】

小倉織出し袱紗

作家の築城則子氏（小倉織を復元した染織家）が、今大会オリジナルの生地を仕立て制作しています。

○問合せ先：表千家事務局（表千家同門会 本部）
関門海峡大会 係
担当 前田明文、酒井麻里
TEL 075-432-2195

2. 一般社団法人 表千家同門会

当法人は、千利休居士以来 400 余年にわたって表千家家元に伝わる茶道を正しく継承普及し、併せて表千家茶道を愛好し学ぶ者の向上を図り、もって我が国の文化の発展に寄与することを目的としています。

本部と支部によって構成され、支部は全国都道府県に 53 支部、海外には、ハワイ支部、サンフランシスコ支部、ロサンゼルス支部、米国東部支部（ニューヨーク・ワシントン DC・フロリダ・フィラデルフィア・シアトルの 5 地区で構成）の 4 支部があります。

会員は 10 代から 80 代と幅広い年齢層の方々、約 10 万人が在籍しています。

（主な活動）

- ・家元が全国の神社仏閣で奉仕する献茶式や歴代家元の年忌法要茶会への懸釜協力を行っています。
- ・各支部では、毎年支部総会、家元主催の講習会、見学旅行、茶会、研修会、講演会を開催し、会員相互の親睦と教養を図っています。また、文化庁主催の国民文化祭や社会福祉活動の一環としてのチャリティー茶会への参加協力、一般市民参加の「茶の湯文化にふれる市民講座」や「茶の湯文化にふれる体験学習」国際交流など、茶の湯を通じた文化事業を行っています。
- ・機関紙「同門」を毎月発行しています。

（歩み）

昭和 7 年	「千家同門会」の発会
30 年	機関誌『同門』創刊
43 年	青年部の発会
45 年	1 県 1 支部となる（国内 53 支部、海外 3 支部）
50 年	「社団法人表千家同門会」設立
51 年	九州茶道館の竣工
52 年	全国大会始まる
平成 5 年	表千家北山会館の竣工
	表千家同門会発会 50 周年記念大会
8 年	茶の湯文化にふれる市民講座始まる
18 年	表千家同門会法人設立 30 周年記念行事
平成 24 年	「一般社団法人表千家同門会」に移行
	表千家同門会発会 70 周年記念定例総会
令和 3 年	表千家北山会館リニューアル・竣工
4 年	表千家同門会発会 80 周年
5 年	表千家同門会国際茶道協会発足
6 年	「表千家北山会館」開館 30 周年記念特別展『わびと数寄』開催

3. 山口県支部のあゆみ

昭和 29 年	山口県支部発会
32 年	山口県支部第 1 回総会（以後、毎年開催）
33 年	防府天満宮御遷座祭献茶式
40 年	中国連合支部大会・ 赤間神宮復興奉祝献茶式 （以後、赤間 神宮献茶式が毎年行われる）
42 年	山口県（周南地区）青年部発会（これより順次、地区ごとの青年部が発会）
50 年	山口県支部発会 20 周年記念総会（於山口市民館）
54 年	第 11 回全国大会 萩大会
57 年	而妙斎宗匠襲名祝賀茶会（於 大徳寺、山口県支部席）
59 年	山口県支部設立 30 周年記念行事（防府天満宮献茶式）
平成 9 年	第 43 回全国大会 長州大会（特別展「表千家と長州」開催）
10 年	「支部だより」第 1 号発刊
14 年	第 1 回「茶の湯文化にふれる市民講座」（以後、毎年開催）
15 年	山口県支部設立 50 周年記念大会（野田神社献茶式）
18 年	第 21 回国民文化祭 やまぐち 2006 協賛
20 年	松陰神社創建 100 年式年大祭記念献茶式
21 年	「山口県青年部だより」第 1 号発刊
平成 26 年	山口県支部設立 60 周年記念行事
28 年	第 74 回全国大会 山口大会
令和元年	山口県青年部設立 50 周年記念行事
6 年	山口県支部設立 70 周年並びに青年部設立 55 周年記念行事 （大寧寺献茶式）
<u>7 年 11 月 8 日（土）、9 日（日）第 86 回「関門海峡大会」開催</u>	
同門会山口県支部・福岡県支部共催	
北九州市共催、福岡県・山口県・下関市後援	

（歴代支部長）

初代	故 神田 吉松（昭和 29 年～昭和 48 年）
二代	故 菊屋嘉十郎（昭和 49 年～昭和 58 年）萩市長
三代	故 木梨 亮一（昭和 58 年～平成 11 年）県教育財団役員
四代	故 安倍 洋子（平成 11 年～平成 23 年）故安倍晋太郎様ご令室
五代	故 安倍 晋三（平成 23 年～平成 25 年）元内閣総理大臣
六代	岸 信夫（平成 25 年～令和 6 年）元衆議院議員

(現支部長)

七代 齋藤 宗房 (令和 6 年～現在)

昭和 28 年生 (72 歳)

山口トヨタ自動車㈱代表取締役社長

(現副支部長)

水野 大直 (令和 6 年～現在)

昭和 40 年生 (60 歳)

赤間神宮宮司

(現支部名誉顧問)

岸 信夫 (令和 6 年～現在)

昭和 34 年生 (66 歳)

元衆議院議員

同門会名誉会員

(現支部顧問)

水野 直房 (平成 9 年～現在)

昭和 9 年生 (91 歳)

赤間神宮名誉宮司

高村 正彦 (平成 9 年～現在)

昭和 17 年生 (83 歳)

元衆議院議員

河村 建夫 (平成 16 年～現在)

昭和 17 年生 (82 歳)

元衆議院議員

高村 正大 (令和 2 年～現在)

昭和 45 年生 (54 歳)

衆議院議員

岸 信千代 (令和 6 年～現在)

平成 3 年生 (34 歳)

衆議院議員

○山口県青年部 昭和 42 年 全国で最初に発会

・現在数 約 70 名

4. 福岡県支部のあゆみ

昭和 17 年	「九州支部」設立（宮崎八幡宮献茶式）
28 年	九州支部発会（福岡・大分・長崎・熊本・鹿児島・佐賀・宮崎）
31 年	九州支部第 1 回総会
36 年	九州支部総会、設立 20 周年記念式
41 年	福岡県支部発会（九州支部より改称） 九州連合支部大会（南九州支部担当）
42 年	福岡県支部第 1 回総会（以後、毎年開催）
46 年	同門会 30 周年記念茶会（於 太宰府天満宮献茶式）、 茶席（地区別 5 席）
51 年	「支部だより」第 1 号発刊 北九州連合大会（福岡県支部担当） 同門会法人設立記念大会（於 遣迎院、福岡県支部席）
昭和 56 年	福岡県青年部設立
昭和 57 年	「青年部だより」第 1 号発刊 第 16 回・第 17 回全国大会 太宰府大会 而妙斎宗匠襲名祝賀茶会（於 大徳寺、福岡県支部席）
63 年	第 27 回全国大会 九州茶道館 10 周年福岡大会
平成 2 年	利休居士 400 年忌追善法要茶会（於 大徳寺、福岡支部席）
10 年	第 44 回全国大会 九州茶道館 20 周年福岡大会
平成 13 年	福岡県青年部設立 20 周年記念式典・茶会
15 年	第 1 回「茶の湯文化にふれる市民講座」 5 地区にて開催（以後、毎年開催）
16 年	第 19 回国民文化祭 ふくおか 2004 協賛
18 年	同門会法人設立 30 周年記念茶会 （於 北山会館、福岡県支部席）
20 年	第 61 回全国大会 九州茶道館 30 周年福岡大会
23 年	福岡県青年部 30 周年茶会・祝賀会
30 年	猶有斎宗匠御襲名祝賀茶会（於 大徳寺、福岡県支部席）
令和元年	第 78 回全国大会 福岡大会 九州茶道館 40 周年 <u>7 年 11 月 8 日（土）、9 日（日）第 86 回「関門海峡大会」開催</u> 同門会山口県支部・福岡県支部共催 北九州市共催、福岡県・山口県・下関市後援

(歴代支部長)

(九州支部)

初代 故 平兮 清楽 (昭和 28 年)

二代 故 渡辺 福雄

渡辺鉄工

三代 故 奥村 茂敏

福岡市長

(福岡県支部)

四代 故 杉本 勝次 (昭和 38 年～昭和 57 年) 知事

五代 故 永倉 三郎 (昭和 57 年～平成 3 年) 九州電力社長

六代 故 高橋 良平 (平成 3 年～平成 9 年) 前九州大学学長

七代 故 田中丸善司 (平成 16 年～平成 21 年) 玉屋リネンサービス会長

(現支部長)

八代 西高辻信良 (平成 21 年～現在)

昭和 28 年生 72 歳

太宰府天満宮最高顧問、宝満宮竈門神社宮司

福岡県神社庁庁長

同門会監事、福岡而妙会、九州茶道館館長

(現副支部長)

渡辺 顯好 (平成 23 年～現在)

昭和 17 年生 (83 歳)

元トヨタ自動車九州(株)代表取締役会長

元(株)九州電工取締役

九州茶道館副館長

田村 邦明 (本年 4 月 1 日就任)

昭和 43 年生 (57 歳)

筥崎宮宮司

◎献茶式 宗像大社 (昭和 37 年初奉仕 毎年 宗匠ご奉仕)

筥崎宮 (昭和 62 年より隔年)

太宰府天満宮 (昭和 63 年より隔年)

○福岡県青年部 昭和 56 年 12 月 全国 5 番目の発会

・部員数 現在 約 90 名

5. 茶の湯文化にふれる市民講座

福岡県支部では、市民の皆様に広く茶の湯文化を身近に親しんでいただくために、毎年、市民講座を開催しています。今回は「関門海峡大会」開催にあわせて、北九州市との共催となります。また今大会の会場が福岡、山口両県にまたがっており、両県支部の協力のもと開催されることから、ご講演講師についても両県からご登壇いただくこととなりました。

主 催 一般社団法人 表千家同門会福岡県支部

共 催 北九州市

名 称 「茶の湯文化にふれる市民講座」

開 催 日 令和7年11月9日(日)

会 場 北九州市立中央図書館

講 演

第1部 10:00～11:30

演題『茶の湯と芦屋釜～北部九州が育んだ鉄の美と技』

講師 新郷英弘氏（芦屋釜の里館長）

第2部 13:30～15:00

演題『萩焼深川窯 その源流と今』

講師 坂倉一溪氏（15代坂倉新兵衛）

参 加 費 1,000 円

小倉城歴史の道での市民茶会・学生による呈茶含む。

参会人数 各回70名

以上